

# 令和4年度収支予算書（正味財産増減計算書ベース）

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

【公益財団法人えひめ東予産業創造センター】

単位:千円

科 目	4年度当初	3年度当初	増減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①基本財産運用益	[ 800 ]	[ 800 ]	[ - ]
基本財産受取利息	800	800	-
②特定資産運用益	[ 1,200 ]	[ 1,200 ]	[ - ]
基金受取利息	1,200	1,200	-
③事業収益	[ 91,494 ]	[ 151,684 ]	[ △ 60,190 ]
大型展示会への県ブース出展支援事業収益	21,600	30,720	△ 9,120
中小企業新事業展開支援事業収益	3,515	3,515	-
新居浜ものづくりブランド創出・支援等事業収益	13,298	13,814	△ 516
西条市技術展示会出展事業収益	5,492	5,280	212
製造業イメージアップ事業収益	2,168	2,168	-
新居浜市創造型研究開発支援事業収益	1,894	2,894	△ 1,000
先進的技術実証支援事業収益	-	1,500	△ 1,500
経営者支援事業収益	800	800	-
研修事業収益	2,000	2,000	-
メンテナンス改革推進包括支援事業収益	3,960	3,960	-
中小・中堅企業経営力改善事業収益	-	2,576	△ 2,576
中小企業「カイゼン」支援事業収益	2,699	2,699	-
プラントメンテナンス技術者・技能者育成事業収益	10,368	8,000	2,368
中小企業等担い手育成支援事業収益	-	19,957	△ 19,957
新居浜市IoT推進ラボ実施事業収益	-	27,901	△ 27,901
施設賃貸事業収益	17,000	18,000	△ 1,000
広報事業収益	-	-	-
交流事業収益	-	-	-
高校生溶接技術競技会事業収益	6,700	5,900	800
④受取補助金等	[ 31,500 ]	[ - ]	[ 31,500 ]
認定訓練助成事業補助金収益	4,500	-	4,500
新居浜市IoT推進ラボ実施事業収益	8,500	-	8,500
地域DX促進活動支援事業収益	18,500	-	18,500

⑤受取負担金	[ - ]	[ - ]	[ - ]
⑥雑収益	[ 200 ]	[ 200 ]	[ - ]
雑収益	200	200	-
受取利息	-	-	-
<b>經常収益計</b>	<b>125,194</b>	<b>153,884</b>	<b>△ 28,690</b>
(2) 經常費用			
①事業費	[ 112,381 ]	[ 140,134 ]	[ △ 27,753 ]
給与手当	28,372	28,596	△ 224
法定福利費	4,715	4,753	△ 38
支払報酬	21,589	28,653	△ 7,064
退職金掛金	1,048	626	422
会議費	325	187	138
旅費交通費	6,951	8,463	△ 1,512
図書購入費	134	250	△ 116
消耗品費	2,139	1,970	169
印刷製本費	1,589	3,588	△ 1,999
通信運搬費	836	1,340	△ 504
修繕費	2,380	2,285	95
使用料及び賃借料	12,395	17,070	△ 4,675
租税公課	84	52	32
委託外注費	26,756	39,613	△ 12,857
材料費	680	910	△ 230
光熱水費	1,904	1,428	476
交際費	80	-	80
保険料	304	350	△ 46
諸会費	100	-	100
②管理費	[ 5,494 ]	[ 7,525 ]	[ △ 2,031 ]
給与手当	868	4,314	△ 3,446
法定福利費	144	717	△ 573
福利厚生費	150	120	30
退職金掛金	32	94	△ 62
会議費	10	10	-
旅費交通費	100	70	30
消耗品費	100	70	30
通信運搬費	70	50	20

修繕費	120	115	5
使用料及び賃借料	130	120	10
租税公課	2,561	1,000	1,561
委託外注費	1,000	660	340
光熱水費	96	72	24
交際費	30	30	-
保険料	43	43	-
諸会費	40	40	-
③減価償却費	[ 6,500 ]	[ 6,161 ]	[ 339 ]
<b>経常費用計</b>	<b>124,375</b>	<b>153,820</b>	<b>△ 29,445</b>
評価損益等調整前当期経常増減額	819	64	755
評価損益等計	-	-	-
<b>当期経常増減額</b>	<b>819</b>	<b>64</b>	<b>755</b>
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
<b>経常外収益計</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>-</b>
(2) 経常外費用			
<b>経常外費用計</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>-</b>
<b>当期経常外増減額</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>-</b>
<b>当期一般正味財産増減額</b>	<b>819</b>	<b>64</b>	<b>755</b>
一般正味財産期首残高	334,554	334,490	64
一般正味財産期末残高	335,373	334,554	819
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
受取補助金等	-	-	-
受取負担金	-	-	-
<b>当期指定正味財産増減額</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>-</b>
指定正味財産期首残高	575,834	575,834	-
指定正味財産期末残高	575,834	575,834	-
<b>III 正味財産期末残高</b>	<b>911,207</b>	<b>910,388</b>	<b>819</b>

◇ 借入金限度額は55,000千円とする。

補足：公益目的事業しか行わない法人の法人運営上必要な管理業務は、広い意味で公益目的事業を行うためと評価できるため、公益目的事業に関して得た財産から管理業務に充てるものは、合理的な範囲で公益目的事業財産に組み入れないことができる。例えば、寄附金(認定法第18条第1号)や公益目的事業の対価収入(同第3号)は、必要な範囲で管理費に割り振ることが可能。